

学校教育に携わるみなさまへ

次世代の学校を目指すための学校事務って？

「つかさどる」学校事務職員の働き方ガイドブック

一学校事務グランドデザイン21 Ver.3 番外編一



私たち、「つかさどるんじょ隊」が紹介するじょへ。

僕、ブラック隊員です。「つかさどるんじょ隊」ではありません。どこかに出てくるから探してよ。

学校教育法第37条第14項、事務職員の職務が「従事する」から「つかさどる」に変わりました。(平成29年4月1日施行)

学校事務グランドデザイン21 Ver.3は、徳島県公立小中学校学校事務職員研究会が策定した学校事務の未来構想です。すべては「子どもの職を支援するため」を基本理念とした、新しい時代に対応していくための総合計画です。それに基づき、当ガイドブックを作成しました。

徳島県公立小中学校学校事務職員研究会
研究部／全国・四国研究大会研究委員会
平成30年8月発行

「従事する」から「つかさどる」って？



平成28年1月に「次世代の学校・地域」創生プランが文部科学省より発表されました。よりよい教育を通してよりよい社会をつくるという理念のもとに考案された「社会に関われた教育課程」を核とした改革です。

学校が地域とつながることで、学校が抱える多様な問題を解決し、主体的に未来を切り拓く子どもの育成を目指しています。具体的な取組として、「JiJi・Ka-Ka」は最も大きな柱ですが、並行して進めなければならぬのが「学校の組織としての力を上げること(チーム学校)と「教員の負担軽減や業務改善」です。そこで、紹介されたのが「事務職員の働き方」です。

詳しくは、「次世代の学校・地域」創生プラン～学校と地域の一体改革による地域創生～(平成20年1月25日)という通知が文部科学省から出されているので、HPなどでご覧ください。



* 担任事項とは、主体的に担当すること

事務職員が持つ知識や専門性を活かすことで、よりよい教育の保障・教員の負担軽減・学校全体の業務改善を図ります

「つかさどる」学校事務によって、どう変わる？

「従事する」とは、決められたおりに事務処理することです。「つかさどる」は、事務業務と教育活動を効果的に結びつけ、判断をすることです。子どもたちのよりよい学びを保障するために、事務をつかさどることが求められています。

事務職員が、「つかさどる」事務に変革していくためには？

学校教育目標を達成するために、事務職員が学校経営に関わることは、学校マネジメント機能を強化します。事務を「つかさどる」ためには、一定の責任を持って主体的に職務にあたり、管理職や他の教職員との連携、地域との協働、相互理解と学びが必要不可欠です。

この任務の実現を後押しするため、つかさどるんじょ隊が誕生しよう！

